

授業科目名 <英訳>	現代史学(特殊講義) Contemporary History (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 准教授 伊藤 順二					
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2018・ 後期	曜時限	月2	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	ロシア革命と南カフカス										
【授業の概要・目的】											
南カフカスは「東部戦線」と並んでロシア帝国の最前線だった。グルジアの社会主義者やアルメニアやアゼルバイジャンの民族主義者のほとんどは、第一次世界大戦開戦に際し、帝国の戦争に全面協力した。帝国の中心における革命は彼らにとって予期せぬ事件だったが、さまざまな構想を一気に開花させる力となった。本講義では南カフカスにおける戦争と革命の経緯を総合的にたどりつつ、ロシア革命なるものの影響力を再考したい。											
【到達目標】											
第一次世界大戦とロシア革命についての基礎的知識を習得するとともに、帝国・戦争・革命に対する歴史的洞察力を養う。											
【授業計画と内容】											
第1回：イントロダクション 第2,3回：徴兵制とロシアの聖戦 第4,5回：バルカン戦争と戦争準備 第6回：戦争への期待 第7,8回：カフカス戦線 第9,10回：「アルメニア人問題」 第11回：社会主義者の戦争観 第12回：中央の革命と南カフカス 第13,14回：革命政権と油田 第15回：おわりに											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
期末レポート(80点)および中間レポート(20点)による。											
【教科書】											
プリントを配布する。											
【参考書等】											
(参考書) 授業中に紹介する											
【授業外学習(予習・復習)等】											
各自、授業中に紹介する基本文献を読んでおくことが望ましい。											
(その他(オフィスアワー等))											
オフィスアワーは、月曜3限とする。											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											